

一般社団法人日本医真菌学会 2020 年度第 2 回理事会議事録

日時：2020 年 2 月 26 日（水）18：00～20：50

メール審議：2020 年 3 月 10 日（火）～28 日（土）

会場：八重洲倶楽部 第 5 会議室

東京都中央区八重洲 2 丁目 1 番 八重洲地下街地下 2 階

出席：

当日現場出席：

澁谷和俊（理事長）

杉田 隆、坪井良治、福田知雄、槇村浩一、宮崎義継、望月 隆 以上理事 7 名

若山 恵（幹事）

後日メール出席（審議期間：2020 年 3 月 10 日～28 日締め切り）

澁谷和俊（理事長）

泉川公一、大野尚仁、亀井克彦、神田善伸、杉田 隆、坪井良治、福田知雄、槇村浩一、
宮崎義継、望月 隆 以上理事 11 名

竹末芳生、三鴨廣繁 以上監事 2 名

若山 恵（幹事）

報告

1. 前回理事会および代議員総会議事録確認

2. メール審議結果報告

3. 会員異動報告

4. 各種委員会報告

1) 編集委員会報告

2) 用語委員会報告

3) 将来計画委員会報告

4) ガイドライン検討委員会報告

侵襲性カンジダ症に対するマネジメントのための臨床実践ガイドライン

5) 支部・関連学会委員会報告

6) 疫学調査委員会報告

7) 教育委員会報告

8) 広報委員会報告

9) 専門医・認定師委員会報告

10) 規約検討委員会報告

11) 倫理委員会報告

12) 利益相反委員会報告

5. 第 63 回総会報告
6. 第 64 回総会準備状況報告
7. 第 65 回総会準備状況報告
8. 関連国際学会・会議に関する報告
9. ICD 制度協議会報告
10. 2020 年度会計中間報告
11. 代議員選挙に関する報告
12. その他

審議

13. 雑誌に掲載する議事録変更の件
14. 転載許諾の料金改定と運用について
15. 医学会・女性医師支援担当者連絡会
16. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会（旧結核病学会）とのジョイントシンポジウム
17. 新規ガイドライン作成委員会立ち上げについて
18. 顕彰制度検討委員会（案）立ち上げについて
19. 学会賞、学会奨励賞選考について
20. その他

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の影響に鑑み、本理事会における議事は後日メール審議にて欠席した理事監事を含めて再度審議を行い、全役員出席し成立したものとす。（メール審議期間：3月10日～4月7日）

議題

1. 前回理事会および代議員総会議事録確認（宮崎総務理事）
2020 年度第 1 回理事会、代議員総会の議事録が確認され、異議なく了承された。
2. メール審議結果報告（澁谷理事長）
2020 年度第 1 回メール理事会、2 回メール理事会について、それぞれ異議なく（承認 11 名、不承認 0 名、監事異議なし）承認された旨報告があった。

報告

3. 会員異動報告（宮崎総務理事）
2020 年 1 月 31 日現在の会員数は、個人会員 923 名（国内 921、海外 2）、顧問会員 1 名、奨励会員 32 名、名誉会員 25 名（国内 23、海外 2）、賛助会員 18 社（53 口）、団体購読 21 名であることが報告された。

4. 各種委員会報告

1) 編集委員会報告（宮崎理事）

①投稿状況（2019年9月1日～2020年2月14日まで）

・全投稿論文数の内訳

17編（依頼：1、総説：1、原著：11、短報：3、症例：1、）

・国内外の内訳（うち英文論文）

国内：7（3）編（依頼：1（1）、原著：5（1）、短報：1（1）、症例：0（0）、図説：0

海外：10編（総説：1、原著：6、短報：2、症例：1）

②広告掲載について

学会誌への広告掲載企業を増やすため、編集委員より企業担当者に内諾をとりつけていただき、その後編集事務局より広告趣意書を送付する形で進めており、7社へ依頼をかけている。

③侵襲性カンジダ症に対するマネジメントのための臨床実践ガイドラインについて

編集事務局より ISBN コードと JAN コード取得について提案があった。将来的に学会刊行物を増やし、書店等へ流通を通して販売を考える場合は、学会としてコード取得が望ましいとの提案だったが、今後の販路や現在の販売実績が不明確なため、現時点で学会でのコード取得のメリット、デメリットの判断ができなかった。その点、次回以降確認の上、継続審議することとした。また、クリプトコックスガイドラインの在庫が無くなり、増刷について議論した。オンデマンドで販売を検討するなど意見があった。過去ガイドライン販売実績と販売先について確認の上、次回以降へ継続審議することとなった。

2) 用語委員会報告（大野理事：現場欠席）

事務局より代理で資料に基づき報告があった。

3) 将来計画委員会報告（神田理事：現場欠席）

事務局より代理で資料に基づき報告があった。審議事項は次回理事会で議論することとした。

4) ガイドライン検討委員会報告（泉川理事：現場欠席）

侵襲性カンジダ症に対するマネジメントのための臨床実践ガイドライン（竹末監事：欠席）

宮崎理事より進捗状況について報告があった。

5) 支部・関連学会委員会報告（泉川理事：現場欠席）

資料に基づき支部開催状況・予定の確認を行った。澁谷理事長より 2020年6月6日（土）第41回関東医真菌懇話会について、医真菌学会員の参加費が減免されることが報告された。

また、関東医真菌懇話会は支部ではなく、後援に該当するので、今後は関東支部ではなく、後援のカテゴリーに掲載することとした。

6) 疫学調査委員会報告（福田理事）

疫学調査の今後のスケジュール（予定）、現在追加施設の選定を進めている旨、報告があった。

7) 教育委員会報告（杉田理事）

- ・皮膚真菌症指導者講習会

2020年8月29日に開催予定である。

- ・他学会との共催

第31回日本臨床微生物学会総会（2020年1月31日-2月2日）

第93回日本細菌学会総会（2020年2月19日-21日）

これに加えて2020年6月の日本菌学会についても共催依頼を予定している旨報告があった。今後、共催情報については各理事が事務局に報告し、理事長、総務理事、財務理事確認後、メール審議にて承認する運用をすることとした。また、基礎学会と臨床学会と合同開催の場合、医学会の補助金の申請が可能と意見があった。事務局にて確認することになった。

- ・菌種名のアップデート

2020年度中に学会誌に投稿予定である。

8) 広報委員会報告（槇村理事）

ホームページのコンテンツ充実を目指し活動している旨報告があった。

9) 専門医・認定師委員会報告（望月理事）

現在、今年度の専門医更新者の更新確認を行っている。更新対象者から専門医規則第15条(4) 出産・育児による留保申請があったことが報告された。

10) 規約検討委員会報告（澁谷理事長）

現在ある細則を定款施行細則作成の上、規約、規則に分けて整理を進めておりこれにかかる作業費を、総務理事、財務理事了承のうえ15,000円計上した旨報告があった。

11) 倫理委員会報告（亀井理事：現場欠席）

報告事項なし。

12) 利益相反委員会報告（亀井理事：現場欠席）

報告事項なし。

5. 第 63 回総会報告（亀井前会長：現場欠席）

事務局より代理で報告があった。収支決算報告書が提出され、公認会計士による会計監査が終了した旨報告があった。

6. 第 64 回総会準備状況報告（澁谷会長）

進捗状況について報告があった。

日時：2020 年 10 月 9 日（金）～10 月 10 日（土）

会場：京王プラザホテル 〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1

会長：澁谷和俊（東邦大学医学部病院病理学講座）

テーマ：「ワンヘルス・マイコロジー：多分野・多職種の共同進化をめざして」

プログラム委員長：宮崎義継（国立感染症研究所真菌部）

事務局長：若山恵（東邦大学医学部病院病理学講座）

7. 第 65 回総会準備状況報告（宮崎次期会長）

開催概要について報告があった。

日時：2021 年 10 月 29 日（金）～10 月 30 日（土）

会場：第一ホテル東京 〒105-8621 東京都港区新橋 1 丁目 2 - 6

会長：宮崎義継（国立感染症研究所真菌部）

事務局長：掛屋弘（大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学）

8. 関連国際学会・会議に関する報告（坪井理事）

宮崎理事より ISHAM について報告があった。ISHAM で雑誌の紙媒体を廃止することとなり、本会も同様に廃止について検討の時期が来ている。次回理事会でオンラインジャーナルとなった場合の費用を調べた上で審議することとした。

2020 年の ISHAM council 選挙では澁谷理事長を vice president に学会が推すことで一致した。

9. ICD 制度協議会報告（望月理事）

報告事項なし。

10. 2020 年度会計中間報告（望月財務理事）

2020 年 2 月 20 日までの予算執行状況について報告された。

11. 代議員選挙に関する報告（事務局）

代議員選挙について、進捗状況と今後のスケジュールについて報告があった。なお、定款に従い代議員選挙で 81 名を選出し、9 名を理事長の推薦で選出する。

2020 年 2 月 25 日(火) 投票締切（消印有効）

2020 年 3 月 6 日（金）代議員選挙開票@春恒社会議室

2020 年 3 月 12 日(木) 新代議員へ内定通知発送

2020 年 4 月 27 日(月) 新代議員へ理事選挙(投票用紙)の発送

2020 年 5 月 22 日(金) 投票締切（消印有効）

続いて若山委員長より、新規代議員候補者申請者の審査にあたり、業績の中で真菌分野以外の業績を提出した会員については候補者資格なしとしたことが報告された。

12. その他

特に無し

審議

13. 雑誌に掲載する議事録変更の件（澁谷理事長）

毎年 1 号に理事会と総会の議事録を掲載しているが、一般社団法人であれば最高意思決定機関である社員総会（本会では代議員総会）の議事録を掲載する方が適切であるため、変更が提案され、承認された。今後は理事会と代議員総会の議事録を掲載する。

14. 転載許諾の料金改定と運用について（澁谷理事長、宮崎理事）

2020 年度第 2 回メール理事会で転載許諾料のボリュームディスカウントを決定したことを受けて、今後は学会として転載許諾の規約や料金を定め、外部へ公開することが提案された。他学会の規約を参考の上作成することになり、日本皮膚科学会の規約を確認することになった。2020 年度第 2 回メール理事会で承認された内容は契約内容に適用とするが、今後作成する規約の内容も考慮して契約することとした。

15. 医学会・女性医師支援担当者連絡会（澁谷理事長）

推薦を募ったが候補者が出なかったため、継続審議となった。

16. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会（旧結核病学会）とのジョイントシンポジウム （澁谷理事長）

第 95 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会（2020 年 6 月 11-12 日）における日本医真菌学会とのジョイントシンポジウムについて諮られ承認された。慈恵医科大学の金城雄樹先生に企画を依頼する。

17. 新規ガイドライン作成委員会立ち上げについて（泉川理事：現場欠席）

宮崎理事より代理で報告があった。「希少深在性真菌症の診断・治療指針」の作成について、委員メンバーと題材、ムーコル症を中心に残りの深在性真菌症を網羅する形で作成予定である旨報告があり、委員会メンバーと活動内容について承認された。

18. 顕彰制度検討委員会（案）立ち上げについて（槇村理事）

委員構成と委員会の活動方針について説明があり承認された。本会の顕彰として「学会賞」と「奨励賞」の中間に相当する、学術上の貢献が顕著である会員に対する顕彰の名称（仮に「学術賞」と呼ぶ）と要件を検討する。これに伴い、「奨励賞」の要件とその名称変更を併せて本委員会で検討することとした。

19. 学会賞、学会奨励賞選考について（事務局）

4月上旬に代議員宛に「日本医真菌学会名誉会員および功労会員候補者の推薦、学会賞および奨励賞受賞候補者の推薦のお願い」を郵送する旨報告があった。

今後は郵送ではなくメール案内とホームページに情報掲載する方法へ変更することとし、代議員総会で承認を得てから変更することで各位了承した。

例年学会賞選考委員の選出をこの理事会の投票で行っていたが、欠席者が多いため後日メールで投票を依頼し選出することになった。

また、2020年度定時社員総会で実施した奨励賞選考委員選挙の結果が以下の通り報告された。

委員長：亀井克彦（2019年度から引き続き）

委員：（基礎）若山 恵、渡辺 哲、加納 壘

（臨床）佐藤友隆、吉田耕一郎、原田和俊

20. その他

1) 事務局より広告収入の内訳について報告があった。収入増加の施策については継続審議とした。

2) 2年以上会費滞納の会員 119名（正会員 108名、奨励会員 11名）について事務局より報告があった。連絡可能な会員については、事務局より連絡する。また、後日自動退会候補者リストを理事へ回覧し、知り合いの先生方に声をかけてもらうことになった。

3) 宮崎理事より会費納入方法について、クレジットカード決済や銀行口座引き落としなどへの変更について提案された。それにかかる経費について確認し再度検討することになった。

21. 報告事項内での審議事項

1) 第68回日本化学療法学会での合同企画

議題 4-4) で審議した。宮崎理事より作成進捗状況と他学会との合同企画について報告があった。第 68 回日本化学療法学会で合同企画「侵襲性カンジダ症治療ガイドライン改訂」を計画している。理事に諮ったところ異議なく承認された。

2) 疫学調査委員追加

議題 4-6) で審議した。福田理事より委員構成について報告された。

委員長：福田知雄、副委員長：宮崎義継

委員：掛屋弘、亀井克彦、神田善伸、楠原正洋、澁谷和俊、下山陽也、須賀康、鈴木裕子、竹中基、二木芳人、畑康樹、丸山隆児、山口さやか、山田七子

上記に委員に野口博光先生、中村かおり先生を追加した旨報告があり承認された。

3) 第 66 回総会会長選出

議題 8. で審議した。坪井理事より APSMM2022 と第 66 回日本医真菌学会総会の共同開催が提案され、承認された。続いて会長について審議を行い、杉田理事が推薦され承認された。日時と会場は下記提案があった。

日時：2022 年 10 月 6 日（木）～8 日（土）

会場：国立京都国際会館別館(Annex Hall, Room101-104)

以上

2020 年 4 月 7 日

議事録署名人

理事長 澁谷 和俊

監事 竹末 芳生

三鴨 廣繁